

第33回

(通算3579回) 例会
令和6年4月4日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

公共イメージ向上について ロータリーの公共イメージの重要性

公共イメージ向上委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

4月 環境月間



左から 福井 敬 会長、堀尾明史 地区公共イメージ向上委員会委員長、池田 勝年 公共イメージ向上委員長

会長挨拶

福井 敬 会長

日本の花といえば桜です。桜は主に北半球の温帯で広範囲に自生しています。世界各地で植栽され、英語では桜の花のことを「Cherryblossom」と呼ぶのが一般的ですが、日本の桜の影響から「Sakura」と呼ばれることも多くなってきているそうです。

桜の特長は一斉に美しい花を咲かせることです。一つ一つの個体が違うのに何故桜は同じような時期に一斉に咲くのでしょうか。それは、多くの桜が「染井吉野」という品種であることに起因します。染井吉野は、オオシマザクラとエドヒガンザクラを交配してつくられた品種です。染井吉野は、親であるエドヒガンザクラの花が咲いた後に葉が出る特長と、オオシマザクラの大きめな花びらの特長の良いとこ取りからできています。この特長を持っている品種を作ることは大変難しく、染井吉野は掛け合わせの中で最も優れた品種を増やしていったもので、基本的には同じ遺伝子が引き継がれた「クローン」ということとなります。遺伝子が同じなので、条件が整えば一斉に咲くことになります。そのおかげで、私たちは満開の桜が一斉に咲き乱れる美しい景色を見ることができるのです。

趣旨説明

池田 勝年 公共イメージ向上委員長

本日は2760地区公共イメージ向上委員会委員長の堀尾様を講師にお招きして「ロータリーの公共イメージの重要性」という題目でお話していただきます。

堀尾様は、株式会社GCTの代表取締役を務められています。2003年に尾張中央RCに入会され、2760地区では西尾張分区幹事を務められています。公共イメージ向上委員に就任され、2019-2020年に副委員長、2021年から現在まで委員長を務められています。

本日は堀尾様のこれまでの豊富な経験を踏まえ、公共イメージには何が一番大事なのかについてや、奉仕活動の事例等についてお話ししていただきます。

卓話「ロータリーの公共イメージの重要性」

地区公共イメージ向上委員会委員長 堀尾 明史 様

大阪をエリアとする第2660地区が3年前に行ったロータリーの認知度調査によると、「ロータリーという団体を見聞きしたことがありますか」の問いには約80%の方が「ある」と回答しており、認知経路は口コミが一番多く、次いでテレビ・新聞等のマスメディアとなっています。その他に、何らかの形でロータリーに関わった方がロータリーの活動内容を詳しく知っているということが分かりました。SNSによる認知はかなり少ない結果が出ていますが、若年層はSNSによる認知が多い結果が出ているため、これからはSNSによる発信が大切だと考えられます。そして、ロータリーのイメージは「年齢層の高いハイクラスな人達の社交クラブ」というイメージが強く「地域の奉仕団体」という認識は2割程度となっています。

私達は持続可能な良い変化を生むべく活動しています。これを多くの人に知らせ、理解や共感を持つ人達を増やすことが公共イメージ向上の活動です。ロータリーの奉仕活動を伝えることにより、ロータリーを知り、参加したり入会することで、参加者の基盤を広げることができます。陰徳の美という考え方もありますが、今私達がすべきことは、多くの人々にロータリーという奉仕団体があることを知らせ、共に活動する人を増やすという目的を持ち、外に向かって発信することだと思います。私達の活動を知らせれば参加者の基盤が広がり、更にたくさんの奉仕活動ができるという好循環をもたらすと思います。

人々が「ロータリー」と聞いて思い浮かべるイメージがロータリーの公共イメージです。ロータリーを知っているという認知は出発点にすぎません。ロータリーの公共イメージは、会員の行動やクラブが実施する活動とそのインパクトによって形作られます。印象強く公共イメージが残れば、ロータリーへの信頼と参加への関心も高まります。ロータリーについて情報を

発信する際には、行動する会員の姿を写し出し、見る人の参加意欲を引き出すような内容にすることが大切です。そうすることで、ロータリーの本来の活動が築かれていきます。

公共イメージを向上させるには発信することが大切です。ロータリーの広報には、ロータリーの友やマイロータリー等の内向きの広報と、マスメディアや口コミ等の外向きの広報があります。ホームページやSNSはその両方に向けた広報だと思えます。

公共イメージ向上で一番大切なことは、皆さまロータリアンが、ロータリークラブを外に知らせたい良いクラブと思っているかどうかではないでしょうか。ロータリーの公共イメージ向上には、マスメディアやSNSの活用が大変重要です。身近な地域の人達の口コミや印象でロータリーのイメージは作られていきます。我々ロータリアン一人ひとりがロータリーを理解し、興味を持ち、満足し、そして好きになりロータリーの広報マンとして日頃からロータリーについて、友人や知人に語ることがロータリーの公共イメージと認知度の向上に繋がるのではないのでしょうか。

そして、公共イメージ向上の目的が会員増強にあるのであれば、「増やす」のではなく、「増える」様なクラブにすること、貴クラブの様な魅力と誇りのあるクラブにすることと考えれば、ロータリーの公共イメージ向上は不可欠だと思えます。

RFFのご案内・PR 佐々木利政 地区RFF実行副委員長



地区では、ロータリー奉仕デーとして10年程前からWFFを開催していましたが、10年を節目として今年からはRFFと名前を変えて開催することになりました。RFFとはロータリーフードフェスティバルの略で、愛知の良さを見つけるイベントとなっています。

今年のRFFは5月11、12日に行われます。場所はエンゼル広場と久屋大通公園広場です。会場には例会ブースがあり、約35～40クラブが例会を行います。愛知めしブースには、豊橋名物なめし田楽「いちちょう」も初出店されますので、是非皆さまにご参加いただきたいと思います。

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. ロータリー親睦活動グループバイク (IFMR) 日本支部より、IFMRジャパン大会開催案内が届きました。参加希望の方は、事務局までご連絡下さい。
7月27日(土) 北海道・旭川トーヨーホテル
2. 地区大会実行委員会事務局閉鎖のお知らせが届きました。
3. 例会終了後、4階グリーンルームにて理事会を開催します。

ニコニコBOX

鈴木 良昌 ニコニコ委員

- 堀尾様、本日の卓話を楽しみにしております。卓話をお聞きして、豊橋クラブの公共イメージをぐっと高めていきたいと思えます 福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 卓話をさせていただきありがとうございます 堀尾 明史 地区公共イメージ向上委員長
- 本日の卓話で、趣旨説明と講師の紹介をさせていただきました。堀尾様、本日はよろしくお祈りします 池田 勝年 公共イメージ向上委員長
- 堀尾様ようこそ豊橋へ。お話を楽しみにしています 村井 總一郎 PG 高山 景一 松井 和彦 大塩 啓太郎 久保田 充三 各会員
- 堀尾様、地区では大変お世話になっております。本日の卓話楽しみにしています 佐々木 利政 会員
- RFFのお知らせ及びPRをさせていただきました 佐々木 利政 地区RFF実行副委員長
- 3月28日の国際奉仕委員会担当クラブ・フォーラムに於いて、熱くなり過ぎて6分の時間オーバーをしてしまいました。お詫びと共に友愛に感謝申し上げます。ありがとうございました 井上 泰宏 国際奉仕委員長
- 先週のフォーラムでアドバイザーを務めさせていただきました 縣 政行 会員
- 先週のフォーラムで発言をさせていただきました 森田 通夫 松井 孝悦 小林 大悟 疋田 涼 各会員
- 弊社株式会社小倉屋が、この5月で創業100周年を迎えます。そのことを中日新聞三河版で紹介していただきました。次の世代にバトンタッチできて、ホッとしています 山本 光伸 会員 (順不同)

本日のゲスト

地区公共イメージ向上委員会 委員長 堀尾 明史 様

歌

ソングリーダー 河合 珠美 会員



「君が代」
「奉仕の理想」

誕生祝い



三浦 裕司 会員 (S.36年4月2日生) 三木 隆治 会員 (S.15年4月7日生) 松井 和彦 会員 (S.30年3月28日生) 平林 邦幸 会員 (S.50年4月6日生)

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者 76名 計算会員数 96名中20名欠席
総会員数 110名 出席率 79.17%

例会予定

- 4月11日(木) 卓話「心のバリアフリー～障がいを超える前向きな生き方」
- 4月18日(木) ファミリーデー